



第75期  
(2023年3月期)  
決算説明資料

2023年5月12日

トーイン株式会社  
証券コード：7923



## 第75期 決算概要

### 注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業において、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心に当社製品の優位性のアピールを軸とする企画提案型の営業活動を継続的に実施するとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいりました。その結果、国内の売上高は食品、化粧品、日用品分野がそれぞれ底堅く推移し、増収となりました。海外においては、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）、タイ現地法人（TOIN（THAILAND）CO., LTD.）とも、新型コロナウイルス感染症流行の影響等による落ち込みから持ち直しつつあり、売上高は11,389百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

精密塗工事業においては、昨年後半からのパソコン、スマートフォン関連需要の落ち込みを受けた電子材料の在庫調整圧力の中で、半導体関連部材の安定した受注及び新規客先の開拓に注力し、売上高は786百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

その他事業においては、許認可を生かした化粧品・食品分野の新規受託などが伸びたことにより、売上高は521百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

この結果、グループ全体の売上高は12,697百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

利益面では、包装資材事業において、エネルギーや諸資材の価格上昇に対して、採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等を推進した結果、まだ水準としては低いものの前年同期比では増益となりました。

精密塗工事業においては、フレキシブルな生産体制への取り組みや製造コスト管理の徹底に努めたものの、エネルギーコスト上昇を吸収することが出来ず、前年同期比で減益となりました。

その他事業においては、受注増に対して引き続き柔軟性のある生産体制の編成を行うこと等で採算性の確保に努めましたが、諸経費等の増加により、前年同期比で減益となりました。

この結果、営業利益16百万円（前年同期営業損失97百万円）、経常利益82百万円（前年同期経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益49百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純損失62百万円）となりました。

## <当年度のトピックス>

### 【営業面・技術面】

- 「複数絵柄の丁合製品」の blanks 自動検査装置を独自開発
- 世界最大規模の化粧品見本市「コスモプロフアジア」に出展（2023年9月14日～16日）
- オリジナルホログラムを用いた偽造防止用パッケージの提案開始
- 封筒型パッケージ形態の提案開始
- デジタル印刷・加工を施したパッケージの提案開始
- スマホ判読型偽造防止ラベルの提案開始
- 野田事業所でHACCP認証（JFS-B規格）を取得（2022年5月）

### 【その他】

- 東京証券取引所スタンダード市場に上場（2022年4月～）
- 九州事業所（福岡県うきは市）を開設（2022年4月～）

## 第75期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第74期		第75期		対前期比	備 考
		%		%		
売 上 高	11,518	100.0	12,697	100.0	1,179	
売 上 原 価	9,732	84.5	10,745	84.6	1,012	
売 上 総 利 益	1,786	15.5	1,952	15.4	166	
販売費及び一般管理費	1,883	16.4	1,935	15.2	52	
営 業 利 益	△97	△0.8	16	0.1	114	
営 業 外 収 益	89	0.8	109	0.9	19	
営 業 外 費 用	49	0.4	43	0.3	△5	
経 常 利 益	△57	△0.5	82	0.6	139	
特 別 利 益	0	0.0	63	0.5	62	
特 別 損 失	5	0.0	52	0.4	46	
税金等調整前当期純利益	△62	△0.5	93	0.7	155	
法 人 税 等	3	0.0	44	0.4	41	
当 期 純 利 益	△65	△0.6	48	0.4	113	
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	△2	△0.0	△1	△0.0	1	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	△62	△0.5	49	0.4	112	

## 第75期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

	第74期		第75期		対前期比	備 考	
		%		%			
流動資産	7,582	42.4	7,848	43.3	266	現金及び預金 売掛金 棚卸資産	△234 +173 +290
固定資産	10,317	57.6	10,276	56.7	△41		
有形固定資産	7,350	41.0	7,479	41.3	129	機械装置及び運搬具 建設仮勘定	△253 +453
無形固定資産	18	0.1	20	0.1	1		
投資その他の資産	2,949	16.5	2,776	15.3	△172	保険積立金	△134
<b>《資産合計》</b>	<b>17,900</b>	<b>100.0</b>	<b>18,125</b>	<b>100.0</b>	<b>224</b>		
流動負債	5,093	28.5	5,772	31.8	678	支払手形及び買掛金 電子記録債務	+240 +371
固定負債	3,597	20.1	3,100	17.2	△496	長期借入金	△527
<b>《負債合計》</b>	<b>8,690</b>	<b>48.6</b>	<b>8,873</b>	<b>49.0</b>	<b>182</b>		
株主資本	8,040	44.9	8,027	44.3	△13		
資本金	2,244	12.5	2,244	12.4	—		
資本剰余金	2,901	16.2	2,901	16.0	—		
利益剰余金	3,605	20.1	3,592	19.8	△13		
自己株式	△ 711	△ 4.0	△ 711	△ 3.9	—		
その他の包括利益累計額	1,128	6.3	1,180	6.5	52	為替換算調整勘定	+128
非支配株主持分	41	0.2	43	0.2	2		
<b>《純資産合計》</b>	<b>9,209</b>	<b>51.4</b>	<b>9,251</b>	<b>51.0</b>	<b>42</b>		
<b>《負債 純資産合計》</b>	<b>17,900</b>	<b>100.0</b>	<b>18,125</b>	<b>100.0</b>	<b>224</b>		

## 第75期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当期首残高	2,244	2,901	3,605	△ 711	8,040	1,128	41	9,209	
当期変動額									
剰余金の配当			△ 62		△ 62			△ 62	
親会社株主に帰属する 当期純利益			49		49			49	
株主資本以外の項目の 当期変動額						52	2	55	
当期変動額合計	—	—	△ 13	—	△ 13	52	2	42	
当期末残高	2,244	2,901	3,592	△ 711	8,027	1,180	43	9,251	

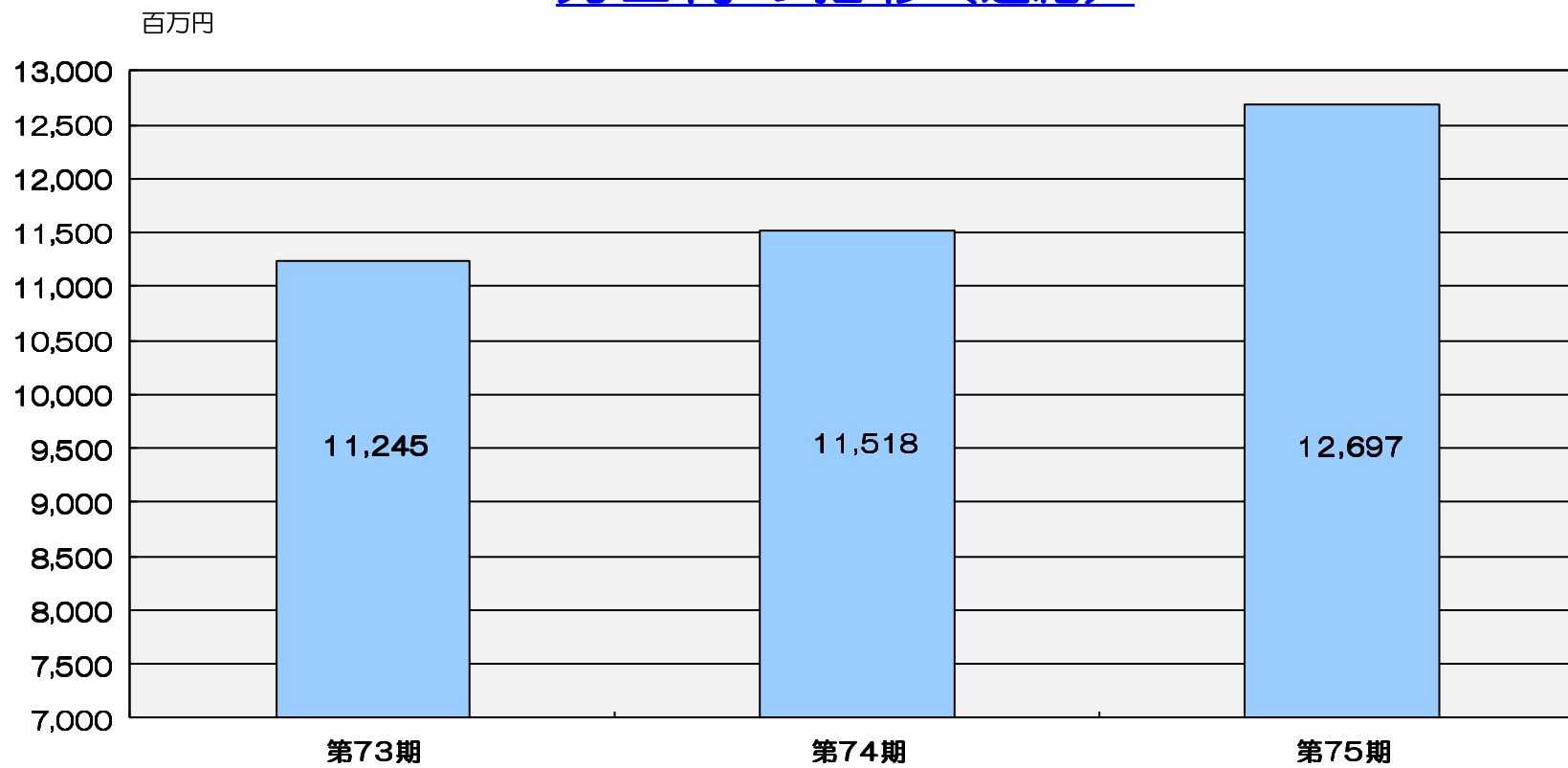
## 第75期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

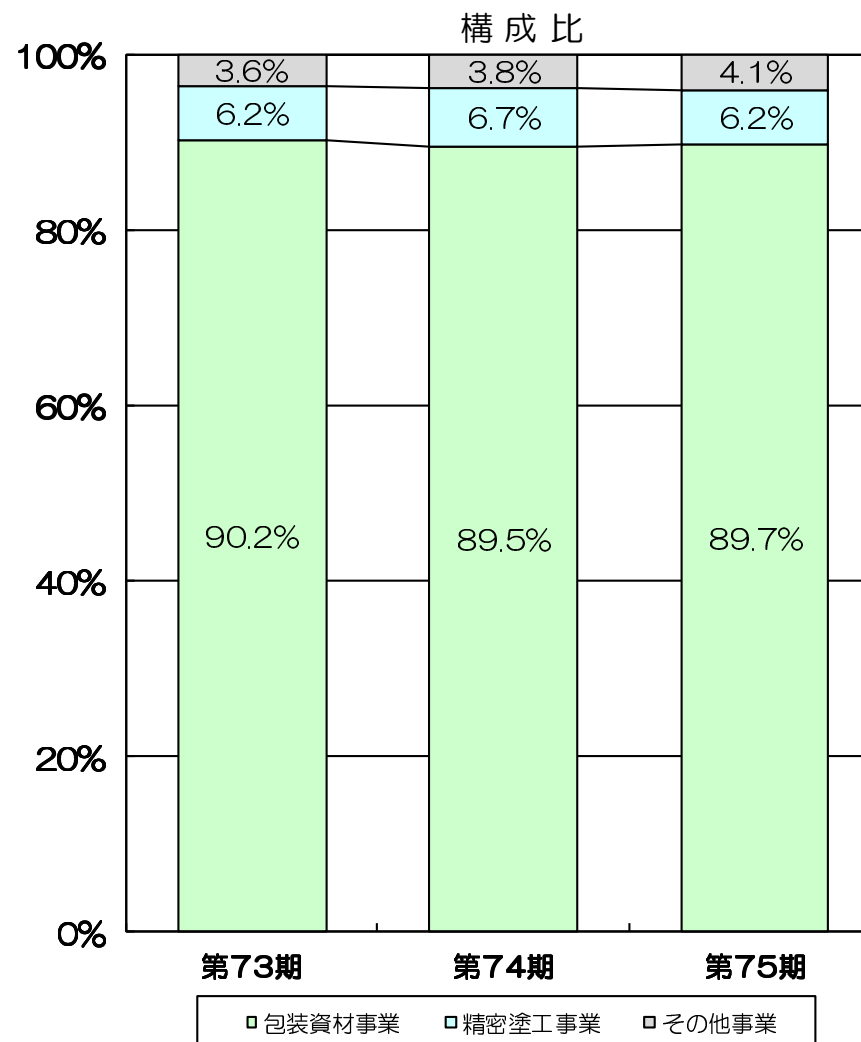
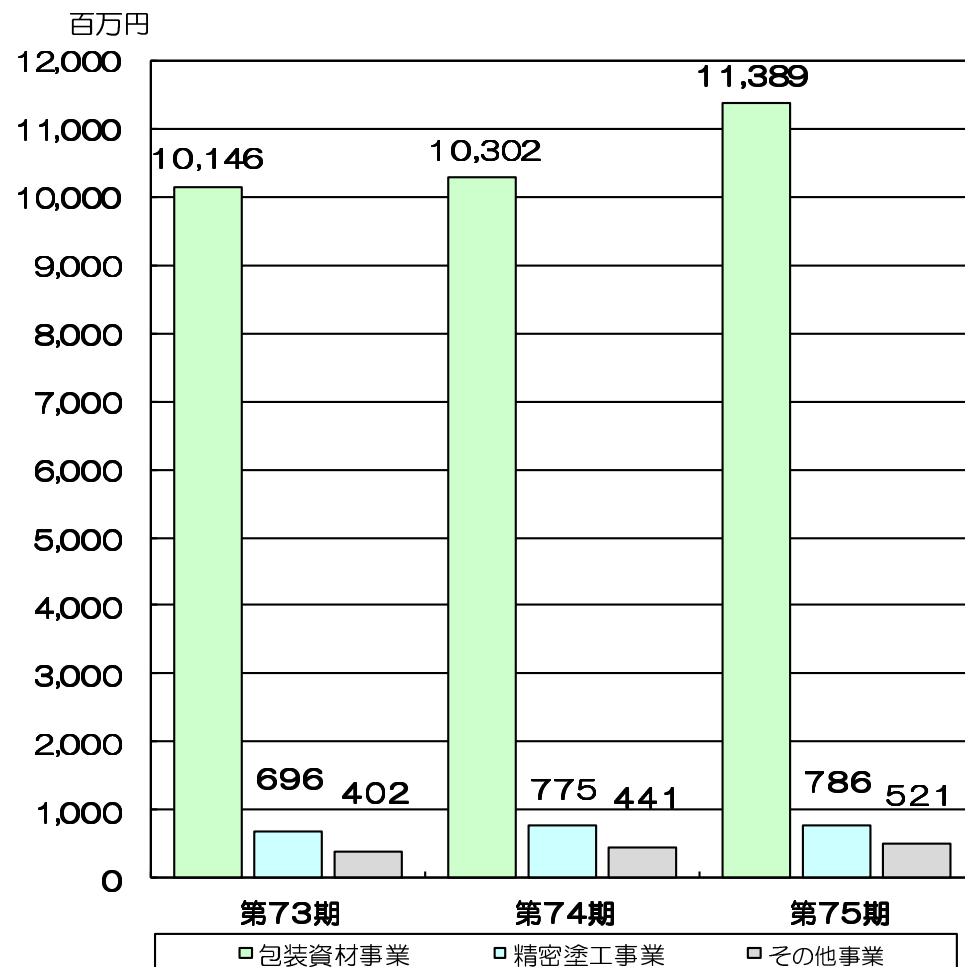
	第74期	第75期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	852	1,107	税金等調整前当期純利益 93 減価償却費 843 受取保険金 160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590	△696	有形固定資産の取得 △721
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222	△677	借入金の純減額 △613 配当金の支払額 △62
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	28	
現金及び現金同等物の増減額	64	△237	
現金及び現金同等物の期首残高	2,254	2,318	
現金及び現金同等物の期末残高	2,318	2,081	



## 売上高の推移（連結）



## 事業別売上高（連結）

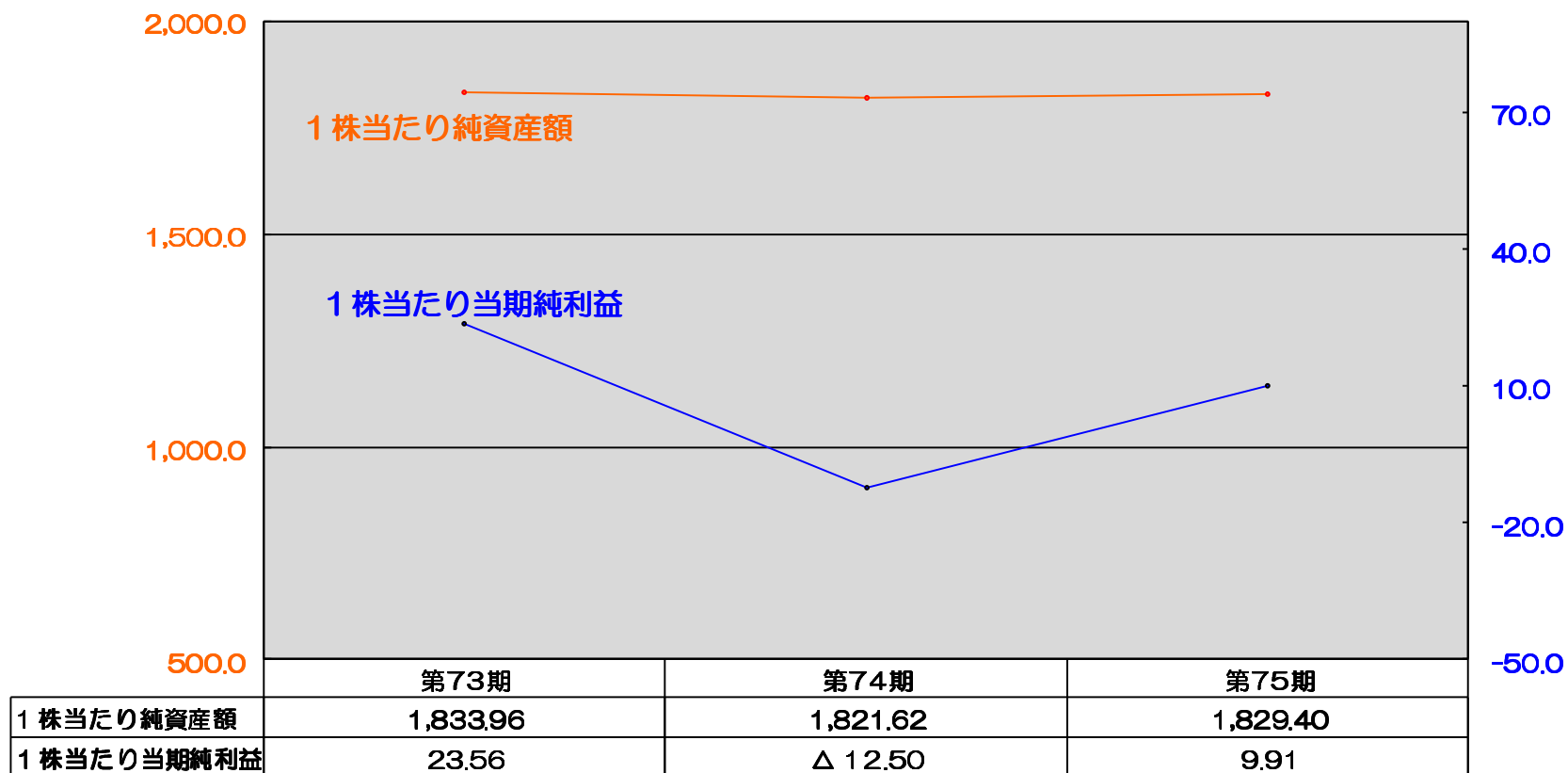


經營指標（連結）

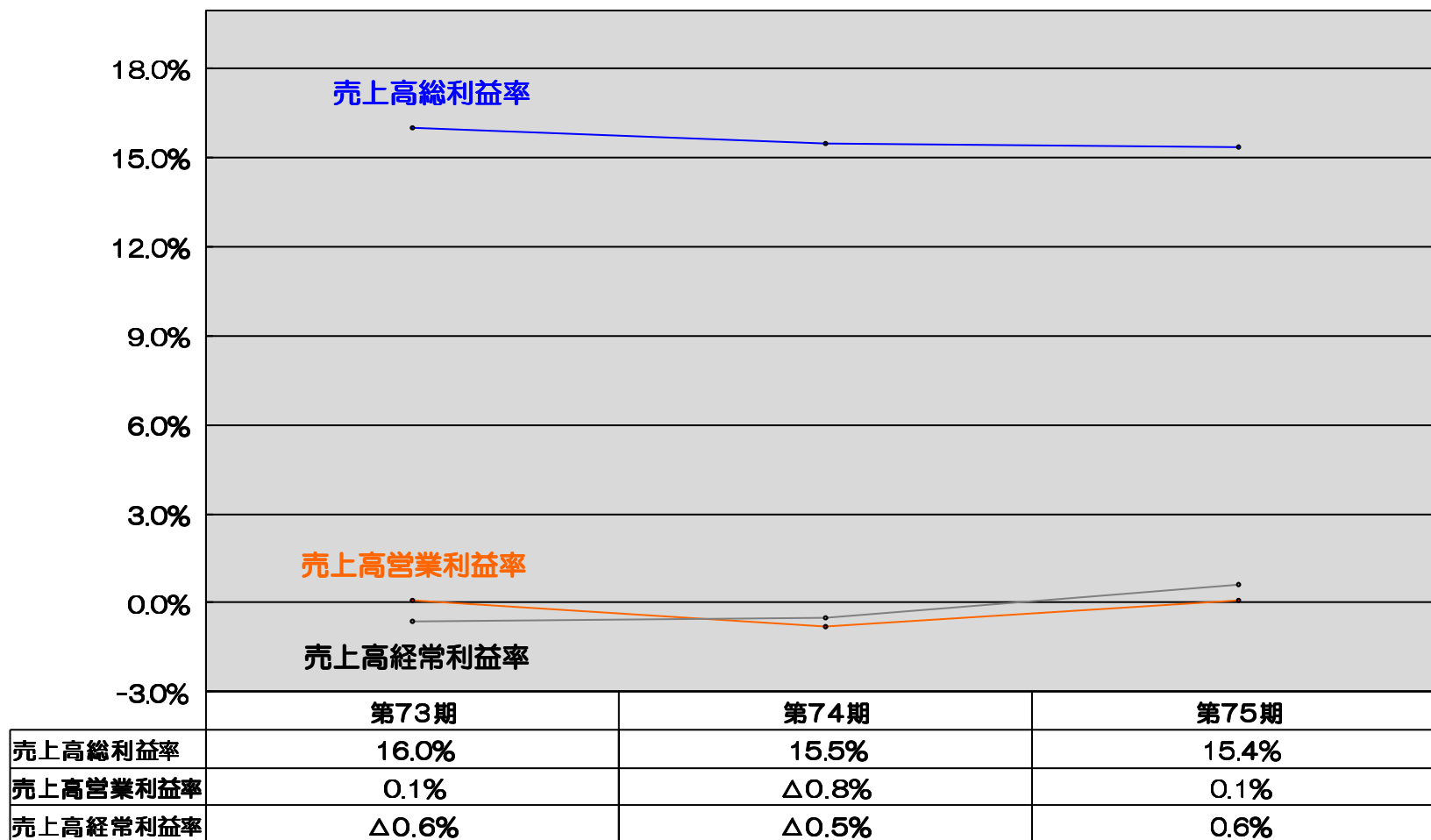
## 経営指標 I (連結)

1株当たり純資産額 (円)

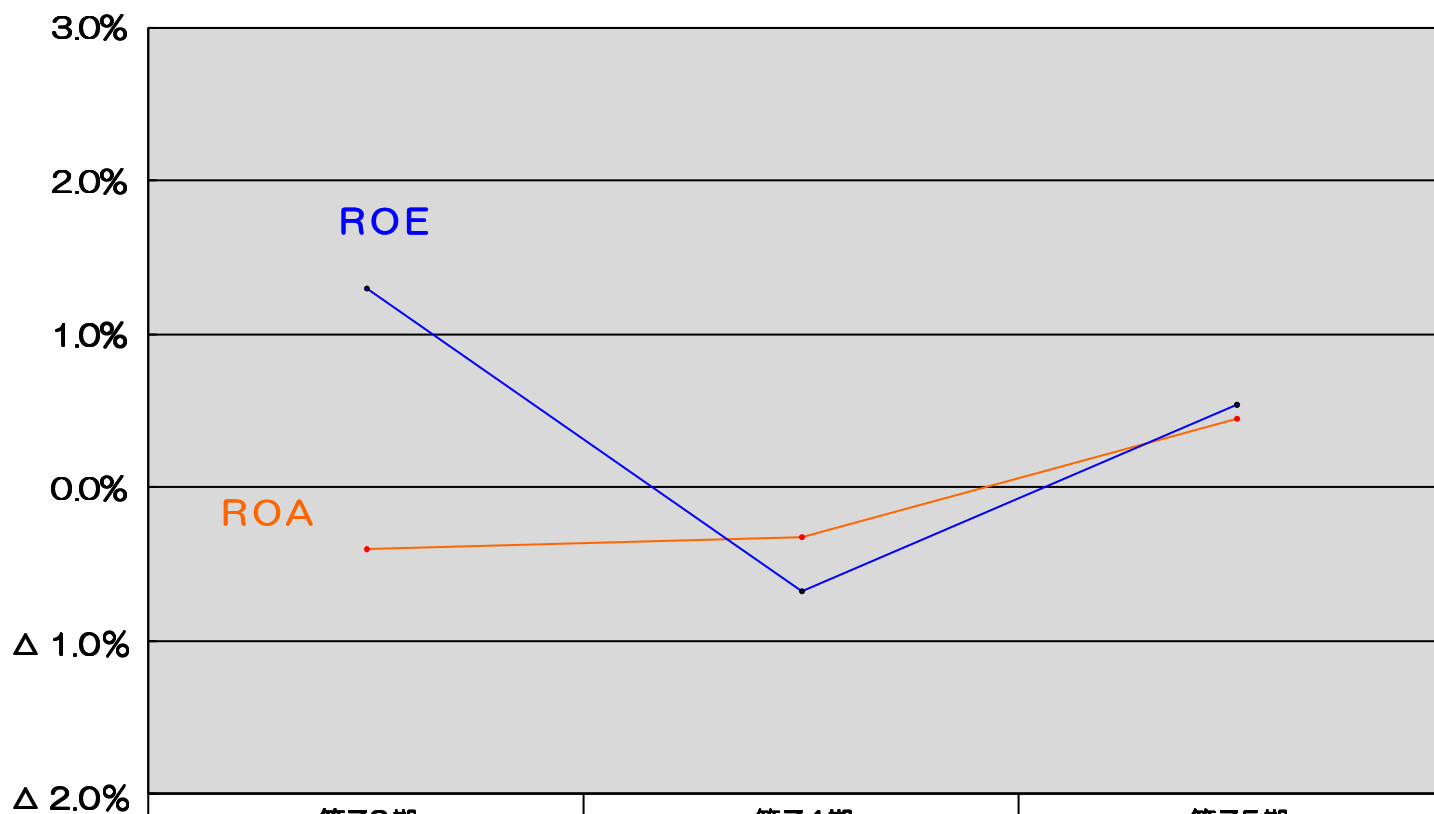
1株当たり当期純利益 (円)



## 経営指標Ⅱ（連結）



## 經營指標Ⅲ (連結)



	第73期	第74期	第75期
ROA (総資産 経常利益率)	Δ 0.4%	Δ 0.3%	0.5%
ROE (自己資本当期純利益率)	1.3%	Δ 0.7%	0.5%

第76期  
(2024年3月期)

連結業績予想

## 第76期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せ、インバウンド需要の回復に期待がかかるものの、消費者物価の上昇等を受け、個人消費の本格的な回復には時間を要することが予想されます。また、ロシアによるウクライナ侵攻や原油をはじめとする資源高、円安などを背景に不透明な経済状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、新規事業開発や新技術開発の強化、スマートファクトリー化・DX化等による生産性向上、環境負荷軽減や人材育成などのESG経営に注力しつつ、新工場構築の検討など将来に向けた事業基盤の再構築を進め、「総合パッケージング企業」への足固めを行ないます。

包装資材事業に関して、まず営業面においては、引き続き環境配慮資材や当社デザイン・構造設計に係る企画力及び加飾技術力のアピールなど、企画提案型の営業活動を継続的にきめ細かく実施してまいります。また、既存客先との取引深耕とグローバル企業を含む新規客先による売上基盤の拡大、ラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、トーイングループの認知度アップを図りつつ、当社グループのさらなる連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し、東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

また、包装資材の周辺事業としては、市場のニーズに即した製品の開発・販売や包装機械メーカーとのタイアップによる包装機械と包装材のセット販売などを模索してまいります。

収益面においては、エネルギーや諸資材の価格上昇、物流コストの上昇に対して、お客さまのご理解をいただきつつ、諸施策を実施してまいります。

生産面においては、工場運営の効率化、省人化・省力化・省エネルギー化の推進、品質管理体制の一層の強化、新工場のスマートファクトリー化に向けた検討、DX推進やBPOの活用による業務プロセスの改革と品質・生産性向上の検討、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）においては、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の改善・強化を継続し、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓に注力するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫受注体制をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、引き続き定期的な商品の受注拡大に注力してまいります。生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化等の推進により生産力の向上を図るとともに、お客様のニーズに対応した品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高13,100百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益40百万円を予想しております。

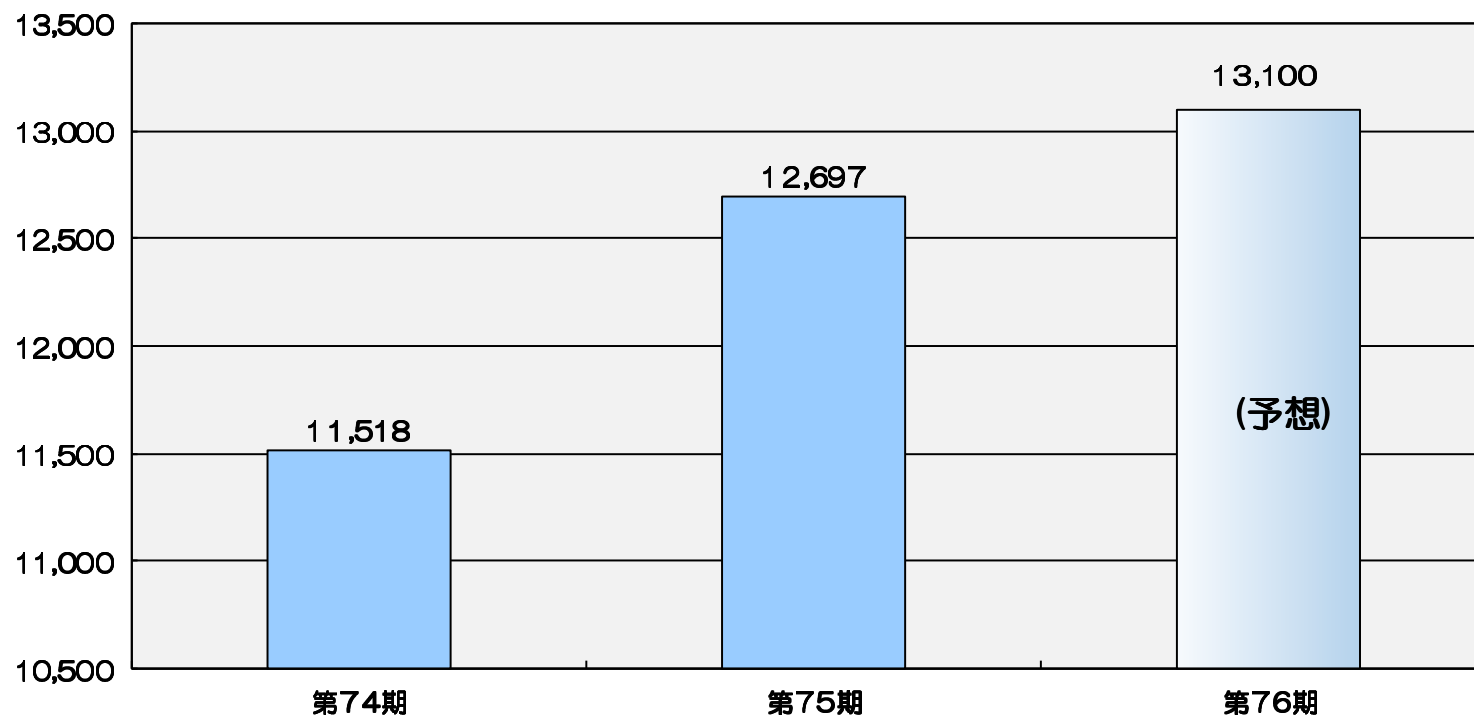


## 第76期の連結業績予想

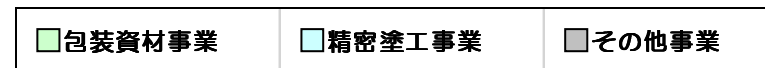
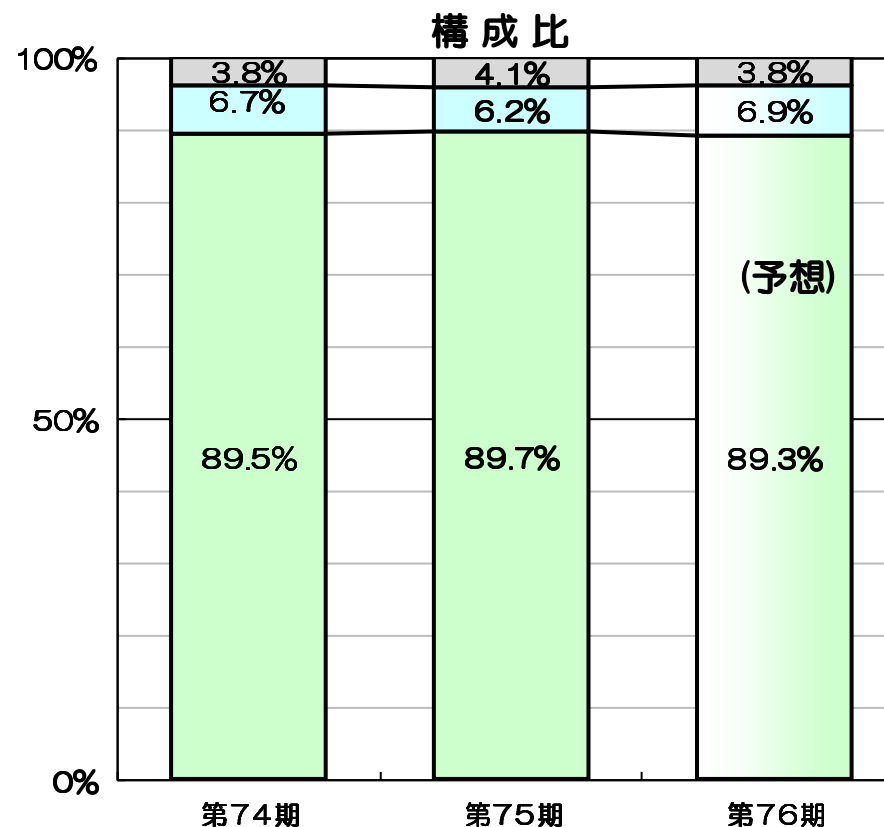
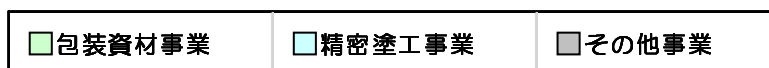
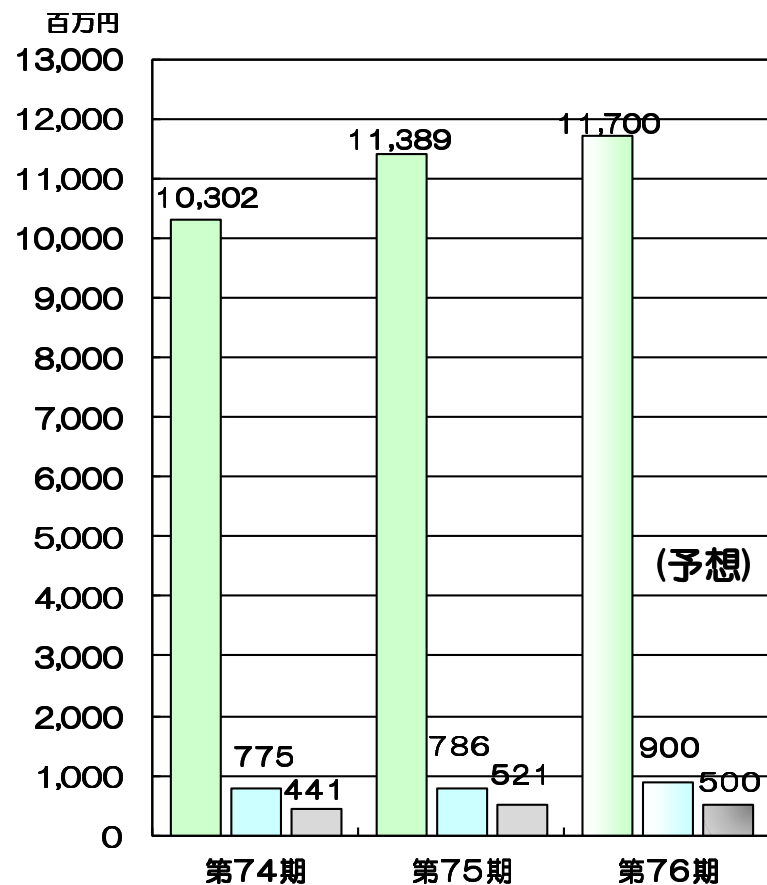
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	13,100	% 100.0
営 業 利 益	100	0.8
経 常 利 益	100	0.8
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	40	0.3

## 通期売上高(連結)



## 事業別売上高（連結）



## 経 営 方 針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。  
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

### <経営理念>

- ・ お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- ・ 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- ・ 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

## 企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

# トーン株式会社

## 《事業所》

- ◎東京本社  
〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2  
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134
- ◎西日本支社  
〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2  
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363
- ◎本店・柏工場  
〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1  
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937
- ◎野田事業所  
〒270-0237 千葉県野田市中里231-5  
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017
- ◎九州事業所  
〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1905-7  
TEL：0943-73-7888(代) FAX：0943-73-7999

## 《子会社》

- ◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)  
タイ王国バンコク市
- ◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)  
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

## 《関連会社》

- ◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)  
タイ王国バンコク市

---

○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>  
 ○本資料に関するお問合せ  
 経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131

